



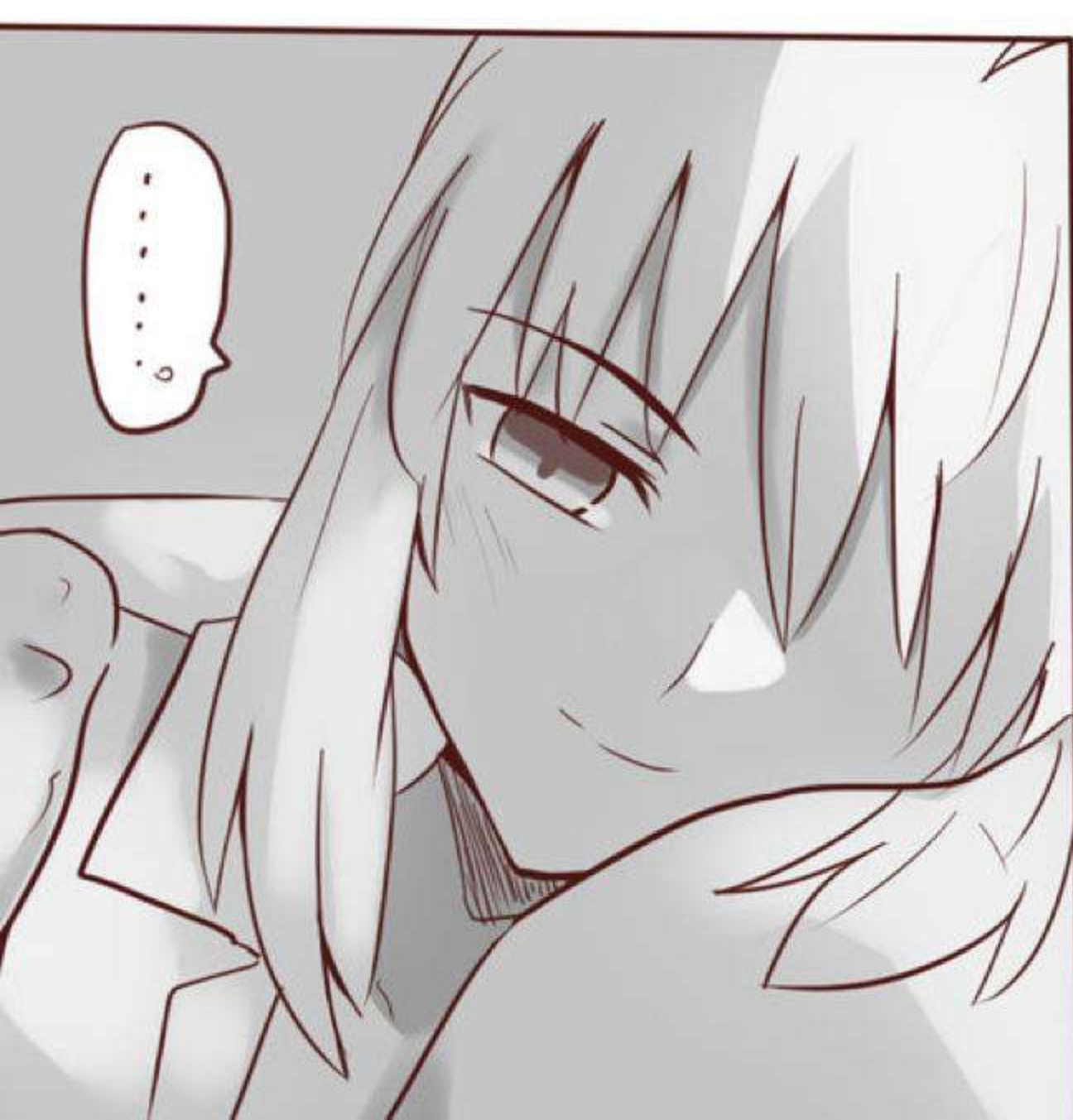
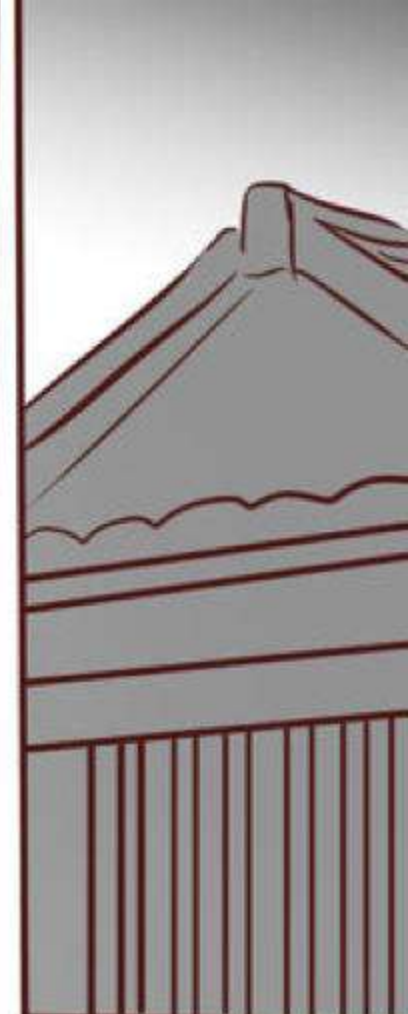
※注意

◦キャラ崩壊

◦性描写つよめ

◦シヤツプレイではない(罪ありき)







幸いシロウの表情から察するに苦痛の類ではないようです。

言われた通り、見なかった事にするのが良いのでしょうか……。

チラ……

主張が……

ギョロギョロ……

……こちらはそうでもありませんね。

ハ……

マスターの安眠を守護するのもサーヴァントの務め。

手早く処理してしまえばシロウも起きさずに済むことでしょう。



ぬぽん

がサ
ゴツ



手早く……。

しゅん♡
しゅん♡

できるだけ早く……。



すぐに射精させて
あげられるように

しゅん♡

しゅん♡

シロウの弱い所を
集中的に……。





せいばあ...

せい.....



.....

やはりやめましょう。
これでは本当に
淫魔の所業です.....。

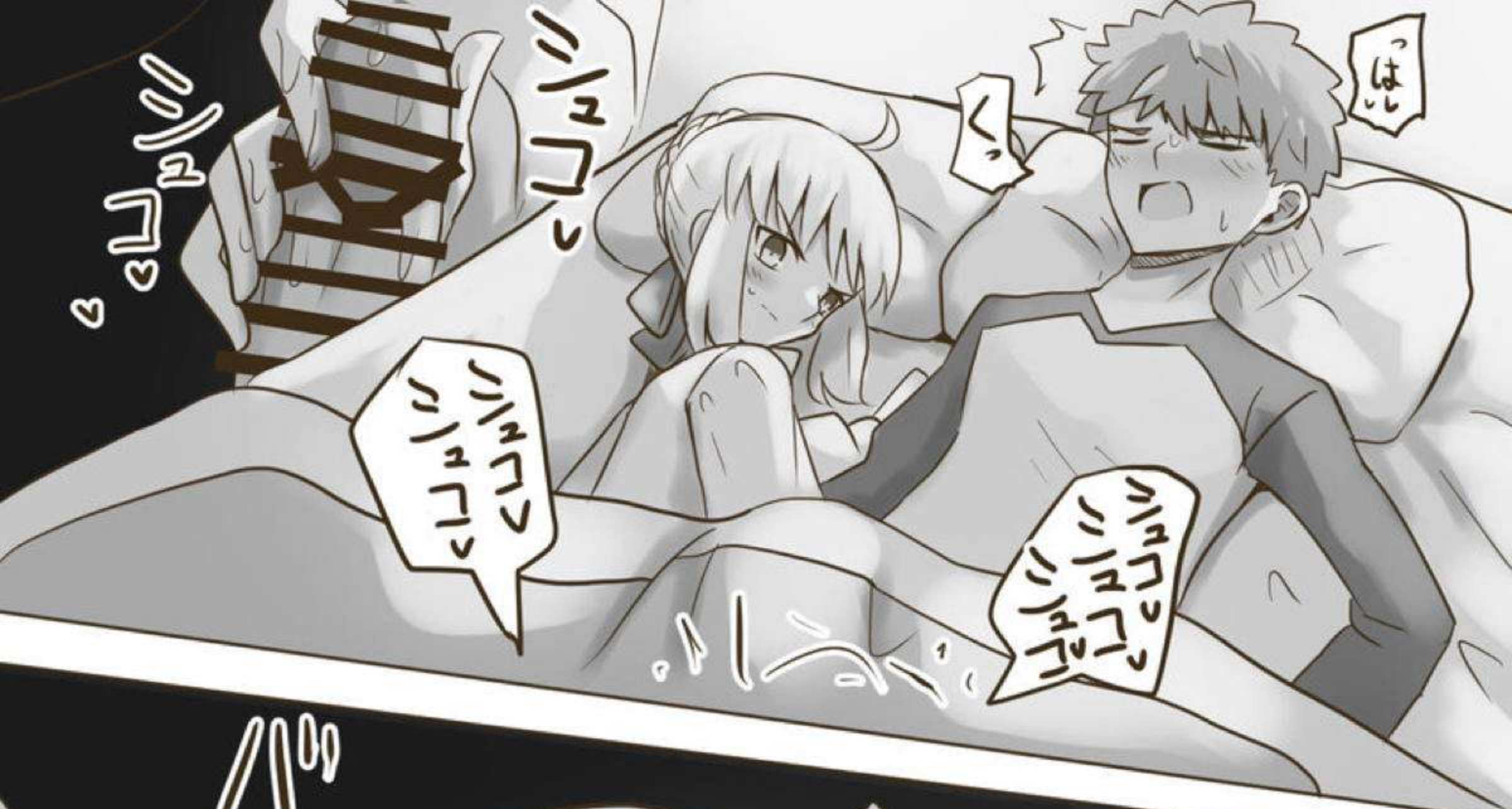
「
ヨンデ
マセン
」

オヤ、
ヨンダカイ？

いえ、マーリンのことを
言っている訳ではなく、
(どちらかと言えば
汎姉上というか)



ここは妙な策は使わず、
私らしく正面突破で
行くべきですね。



溢るならいっしょに泣いてしまおう。

泣いてる

びゅん

びゅん

泣いてる

泣いてる

泣いてる



きゅん。

濃。

っ……

これ……

シロウの方は

落ち着いたでしょうか……

すー

……んむ。

どうやら大丈夫のようですね……

日々の疲れが溜まっていたのでしよう。

スツ

ああ、良かった。眠りの妨げにはならなかったようですね。



少し汗をかいて
しまいましたか。

シャワーを浴びに
行かないと……。



スヌー
パターン

途中から
起き出した



……バカ。

あ〜
やっぱり。

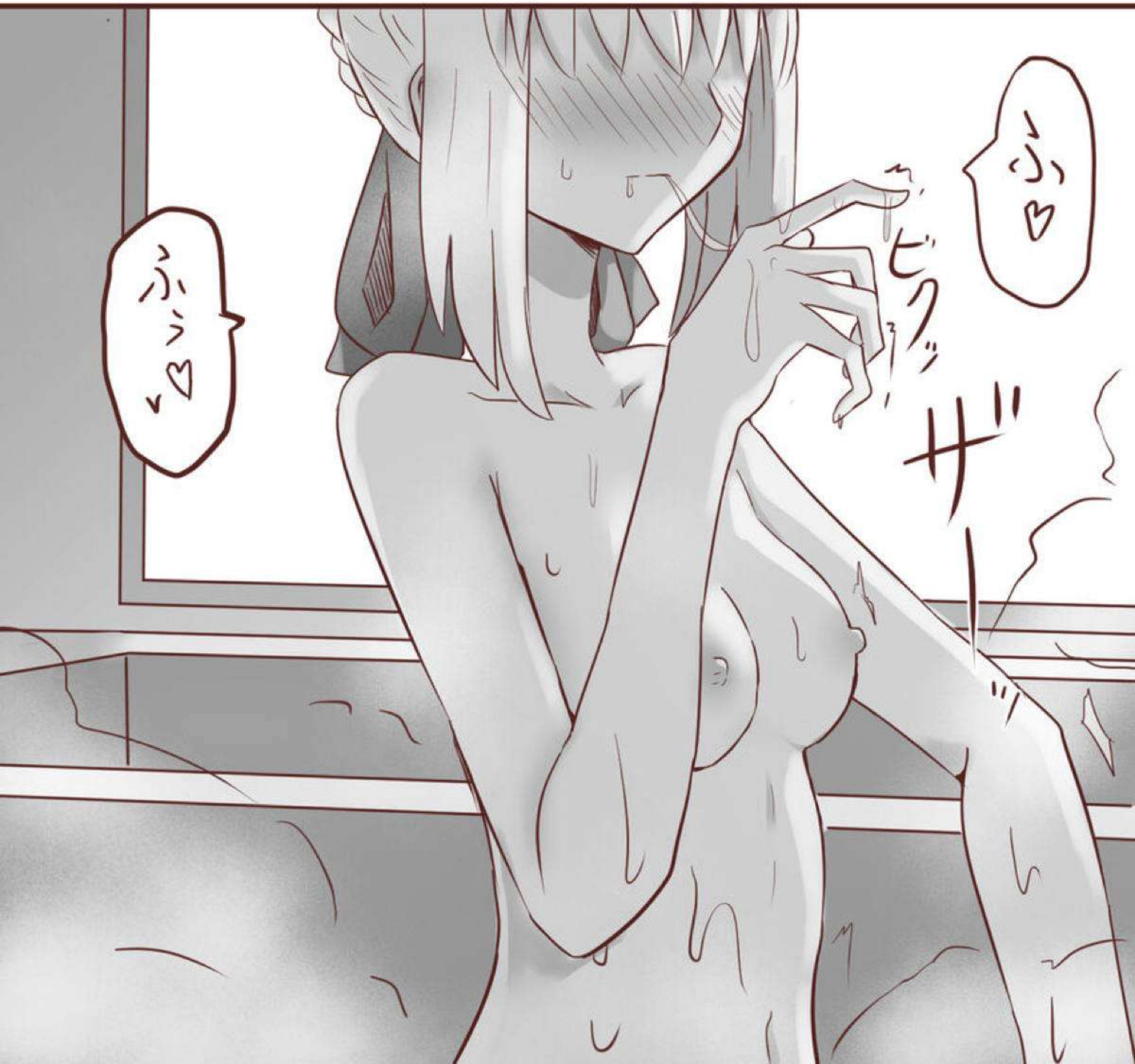
だからスルーして
くれって言っただろ



……

ずくり

……



まだ口の中に
シロウの精が――

肌に触れた部分が熱い。
今度は私の方が興奮して
しまっているのでしょうか……

ふぅ

あ

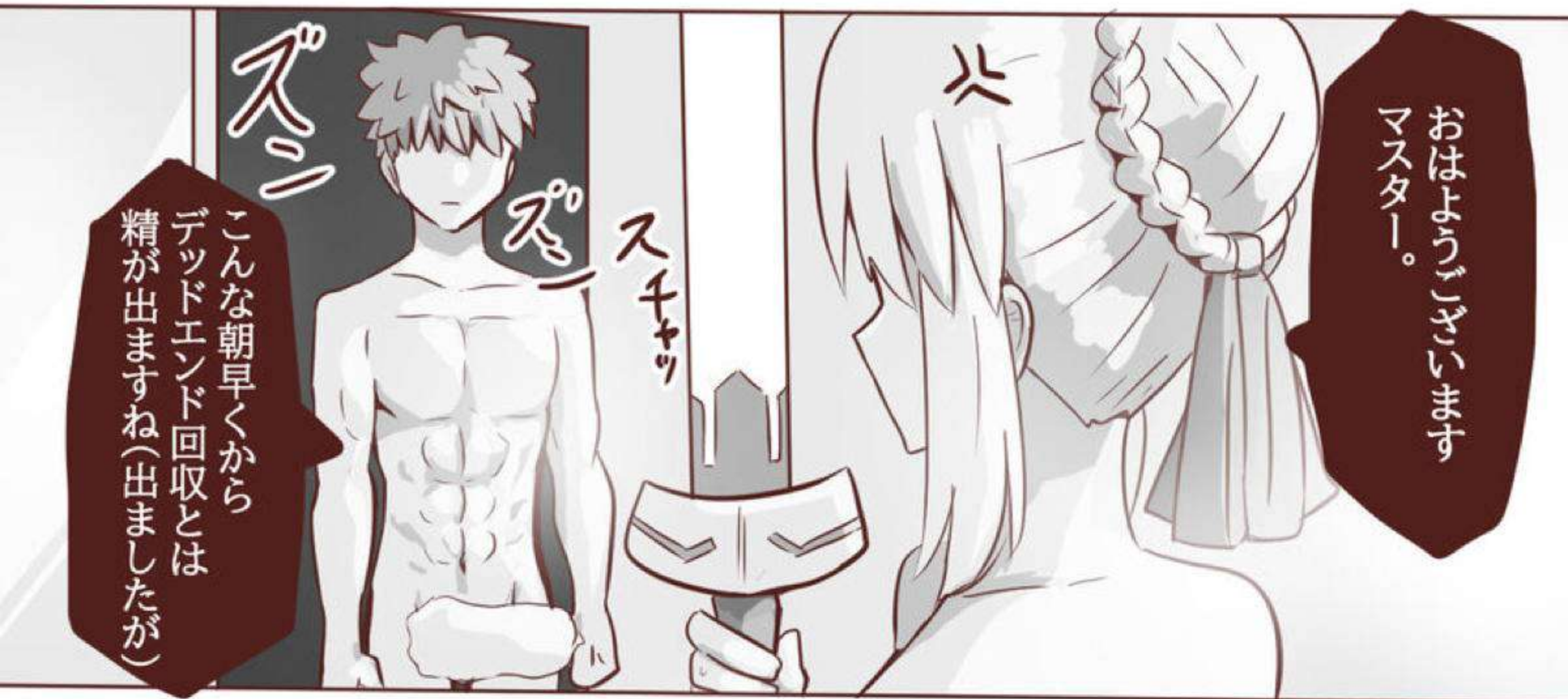
ピクン

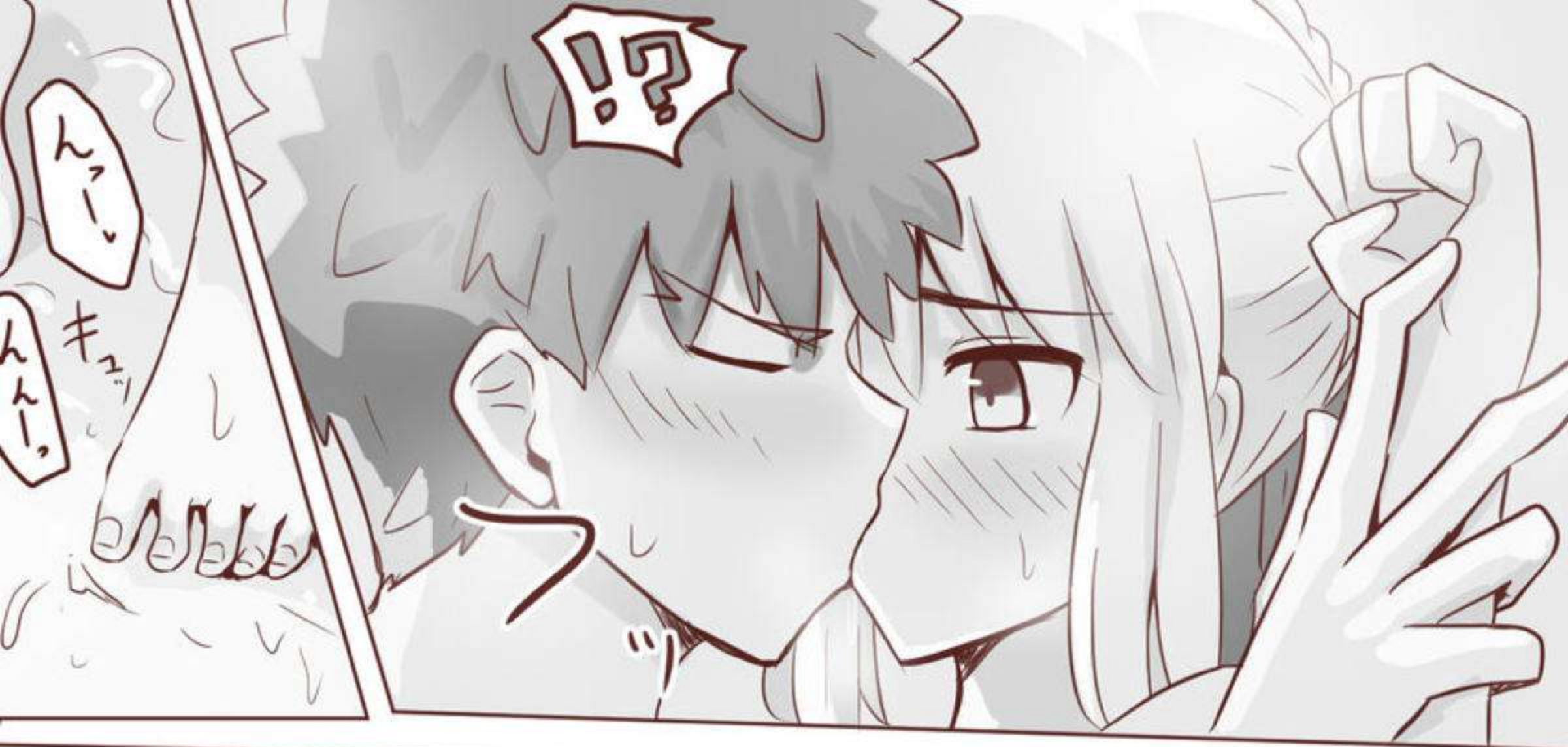
ザッ

全く、いつからこのようにな
はしたない身体に
されてしまったのか……

ぴちゃ







ダメ……
今は——!

シロウがこんな
強引な接吻を……!?



言っとくけど。
今回はセイバーが
悪いんだからな！

すえ

ぜん

ちやんと最後まで
責任取ってもらおうぞ！！

……シ、シロウ。
やはりその。
怒って、いるのですか？

いいやー？

オレは全く。何も。
怒ってないぞセイバー。

ヒキキッ
イライラ
イライラ
イライラ

たださ。
気遣ってくれたのは
すごく嬉しいんだけど、

あれだけその気にさせといて
中途半端に放置するのは
良くないと思うんだ。

ですがシロウ、
それでは早朝から
貴方に負担が――

ピ。チ。...

ピ。チ。...

いいやセイバーのおかげで
元気になり過ぎたから
付き合ってもらおうぞー？

貴方、やはり怒って
ひゃん♡



とは言ったものの、
セイバーの方も
結構大変なことにな
なってるな……!!

く
ちゅゅ



シ、シロウ……!

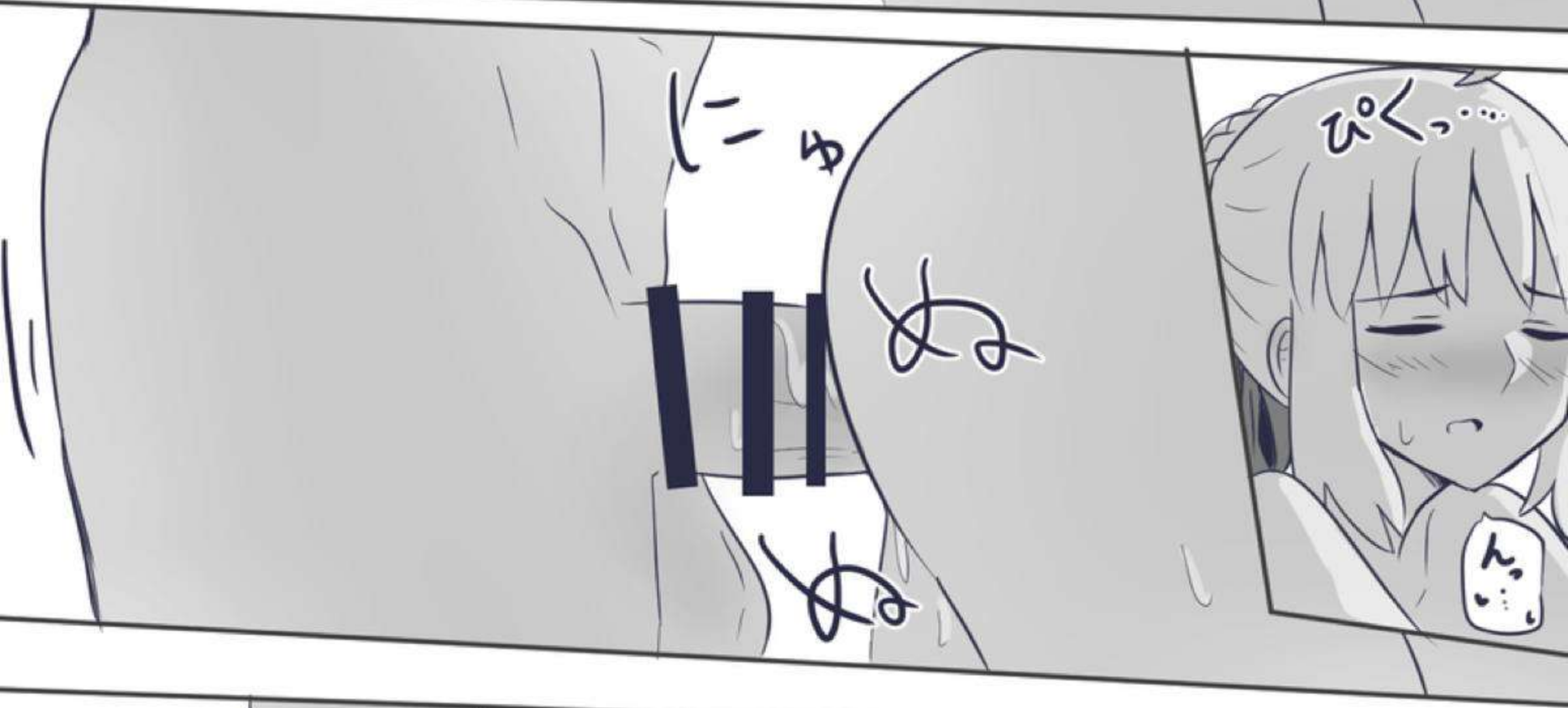
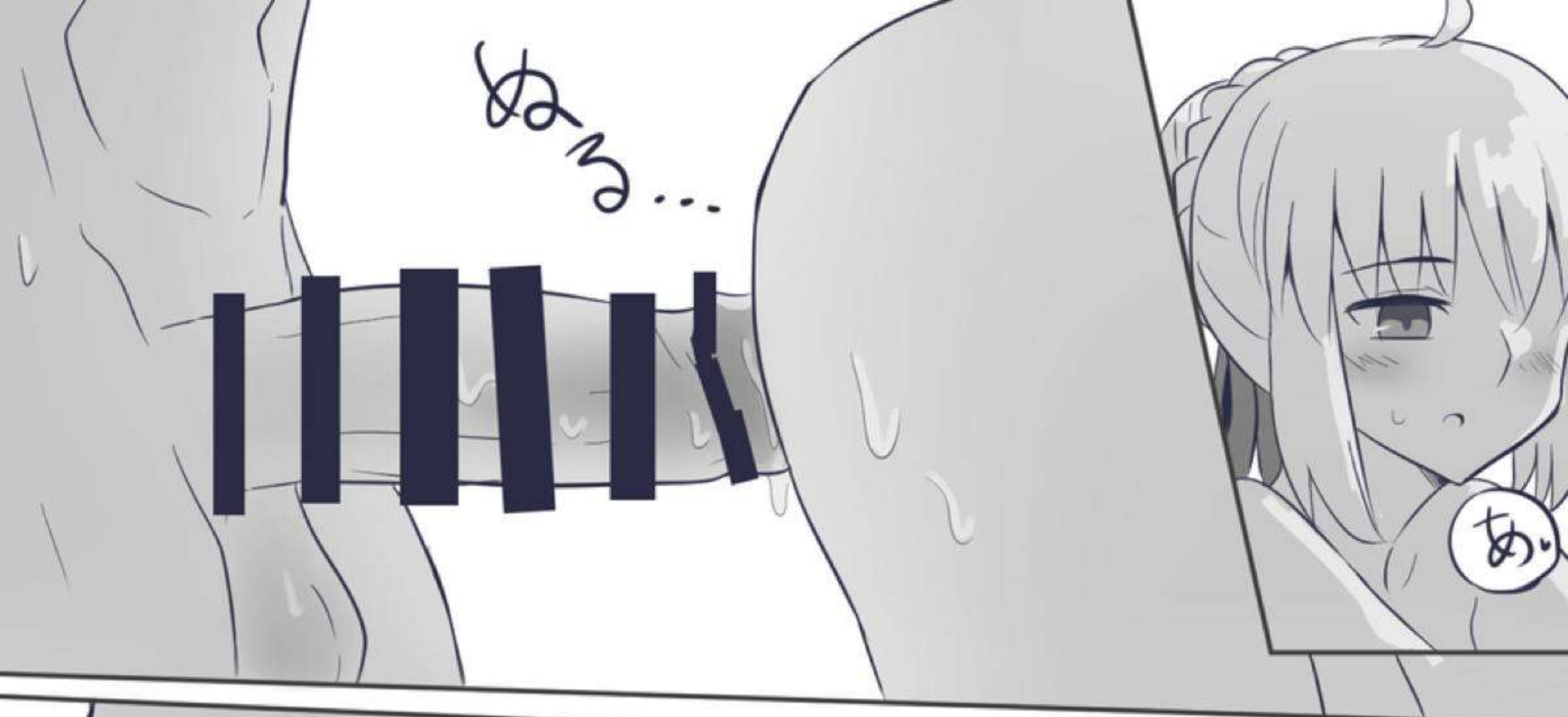
黙って見られると、
落ち着きません……!

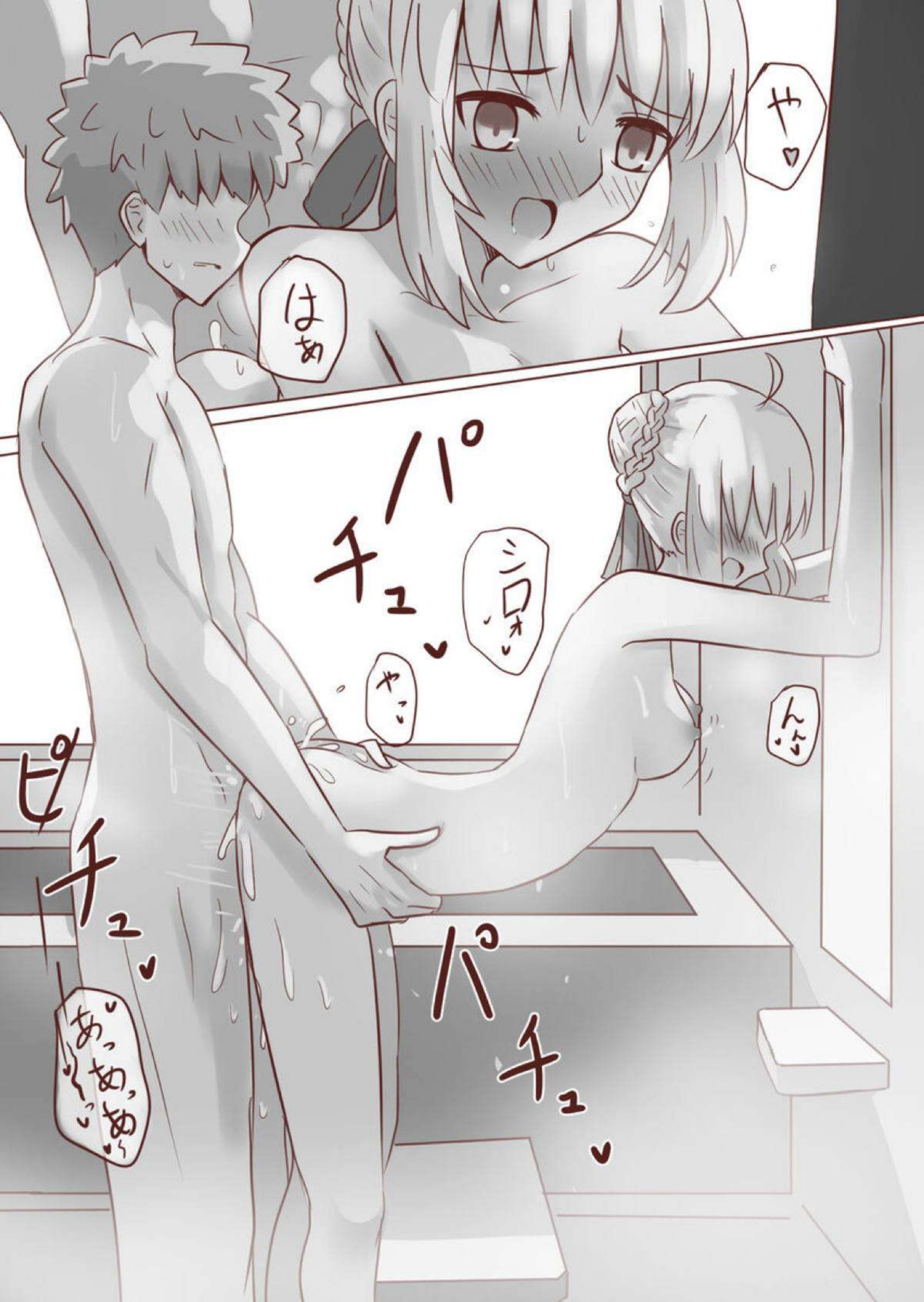
それより、その――



ああ
オレも我慢の
限界だ。

挿れるぞ
セイバー





あ

はあ

パッ
ジュ

ジュッ

あ

あ

あ
ジュ

あ、あ、あ

パッ
ジュ



全く。あり得ぬ話
ではありませんが……。
何かの間違いで
妊娠してしまったら
どうする気なのですか。

じー…

?

セイバー？

無理ヤクせち
またか？

えっと、なんだ。
もしかして気分が
悪かったりするか？

——ああ、でも。

いいえ、シロウ。

少し力が抜けて
しまっただけです。

む……。
ならいいけど

そんな幸福な間違い。
少し夢見るぐらいは
構わないでしょう。

さて、それでは攻守交代の
時間ですね、シロウ♡

どうやらまだまだ満足
できないと見ました。
仕方がないので布団の
続きと致しましょうか

待ってくれ、セイバー！
なんか声、怖いぞ？！
お前に本気出されたら
嫁に行けなくなる気が
するんだが!!(汗)

おや、何を言うかと思えば。
当然私が引き取りますよ。
ご安心を、マスター♡

ちくしょう！
なんか台詞は嬉しいけど、
ちっとも安心できないぞ！

